

科研費電子申請システムより入力（前半部分）

	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
	00	0	00000	0000

令和X(20XX)年度 基盤研究（C）（一般）研究計画調書

令和XX年XX月XX日
1版

新規

研究種目	基盤研究(C)		応募区分	一般			
小区分	哲学および倫理学関連						
研究代表者 氏名	(フリガナ)	ワダイ タロウ					
	(漢字等)	和大 太郎					
所属研究機関	和歌山大学						
部 局	〇〇学部						
職	教授						
研究課題名	〇〇の□□に関する研究						
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	令和X年度						
	令和X年度						
	令和X年度						
	令和X年度						
	令和X年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	---						

研究経費の明細欄のとおり金額が反映されているか確認してください。
(金額は千円単位です。)

1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査される。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領参照）を参考にすること。

本研究の目的と方法などについて、4頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景や本研究の着想に至った経緯、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)関連分野の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、(6)本研究がどのような国際性（将来的に世界の研究をけん引する、協同を通じて世界の研究の発展に貢献する、我が国独自の研究としての高い価値を創出する等）を有するかについて具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともにを行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

（概要）

- ・ファイルの容量は5MB以下にしてください。
- ・余白の設定は変更しないでください。
- ・フォントのサイズは11ポイント以上（英語の場合は10ポイント以上）にしてください。
- ・各項目の指示に沿って作成をした結果、空白の頁が生じても構いませんが、その場合、空白の頁を削除しないでください。

（本文）

本欄では、今回応募する研究計画において何をしようとしているのか、本文と概要でその全体像を明らかにします。

概要については、10行程度で記述してください。

本文には、

- (1) 本研究の学術的背景や本研究の着想に至った経緯、研究課題の核心をなす学術的「問い」
 - (2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性
 - (3) 関連分野の研究動向と本研究の位置づけ
 - (4) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか
 - (5) 本研究の目的を達成するための準備状況
 - (6) 本研究がどのような国際性（将来的に世界の研究をけん引する、協同を通じて世界の研究の発展に貢献する、我が国独自の研究としての高い価値を創出する等）を有するか
- について、具体的かつ明確に記述してください。

また、上記の概要も含め、4頁以内で記述してください。

本研究を研究分担者とともにを行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

2 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動（主要な研究業績を含む）、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。
 「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合には必要に応じてその内容を含めること。また、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため
 (1) これまでの研究活動
 (2) 研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）
 について、2頁以内で記述してください。

「(1)これまでの研究活動」は、本研究計画の実行可能性を示すよう、本研究計画に関連した研究活動を中心に記述します。研究分担者がいる場合には、その想定される役割に関連した研究活動を中心に記述します。

記述に当たっては、研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載してください。

研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、などとなります。

論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。

産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得など、研究活動を中断していた期間がある場合は、その事情を本欄に記述しても結構です。

【2 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述してください。

なお、該当しない場合には、「該当なし」と記述してください。

4 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述すること（公募要領参照））

本研究の研究代表者が行っている、令和8(2026)年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内で記述すること。
 該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			令和 年 度～令和 8年度

当初研究計画及び研究成果

本研究の研究代表者が行っている、令和8年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内（各項目については10行程度）で記述してください。
 なお、該当しない場合は、空欄のまま提出してください。

前年度応募する理由

